

1.

※S E…雨

お兄さん。

おい。

大丈夫？　ねえ、生きてる？

もう終電無くなるよ。

こんな所で寝てたら風邪ひきますよー。

《一呼吸おいて》

…ちよ、本当に大丈夫？

え？　なんて？

…やばい？

何？　なんの話？

※S E…嘔吐

《慌てる》

え、あ、え？　わ、ちよつとちよつと…。

《一呼吸おいて》

あーあ。

また盛大に吐いたね…。

※S E…衣ずれ（背中を撫でる）

大丈夫？　まだ出る？

もう全部吐いてすっきりしたらいいよ。

ほら、ゲーゲーしやん。

※S E…嘔吐

《一呼吸おいて》

すっきりした？

うわ。顔真っ青。

歩ける？

ああもう、フラフラじゃん…。

仕方ないなあ…。

ほら、肩貸してあげるから。

よいしょっと。

あんまり体重かけないでよね。

うん、ちよっとだから、頑張つて。

うちすぐ近くなの。

《5秒沈黙》

※SE…扉の音

《フェラ 先端を拙く舐める》

ん…くちゅ…あむ…くちゅ…ん、ん…れろれろ…。

《口に含んだ風の話し方で》

あ、起きた？

お兄さん？

おーい。

まだ寝ぼけてる。

え？ なんて？

ごめんもう一回。

まみ？

《笑いながら》

誰それ？ 違うよ、私は瑠璃っていうの。

じゅりじゃないよ。

る、り。

もしもし？

聞こえてる？

《口に含んだ風の話し方で》

《フェラ 全体を往復》

じゅぼ…んう、じゅぼじゅぼ…はう…じゅぼ…んう。

《口に含んだ風の話し方で》

ふふっ。

まあいいよその人でも。

誰？ お兄さんの恋人？

ふうん、振られたんだ。

どうして？

え、浮気？

お兄さんが？

そっか、向こうが浮気したんだ。

だよね、お兄さんはそんな感じしないし。

《笑いながら》

付き合ったばかりだったんだ。

だからあんなに酔っ払ってたんだね。やけ酒、ってやつ？

《⇒》

でも逆に良かったんじゃない？

早めに本性分かって。

《口に含んだ風の話し方で》

《フエラ 先端を拙く舐める》

あむ…れろれろれろ…ん…ちゅ…あ…ん…れろ。

《口に含んだ風の話し方で》

え？　なんで私がフエラしてるか？

てか、ここどこ…って？

えつとねえ。

ん…あむ、クチュ、ジュルル。

《飲み込む》

こく。

夜散歩してたら、お兄さんが道で寝てて。

雨も降ってたし、とりあえずうちに連れてきて。

濡れてるしまず着替えさせないと…と思って脱がせたら。

なんか…匂いにやられちゃった、みたいな？

お兄さん、意外と良い体してるよね。

なんかスポーツやってた？

走ってた？ 陸上部？

え？ 趣味で走ってたの？

ああ、だからちよつと腕は細いんだね。
すごいなあ。私は走るのって苦手。
体力無いから。

《口に含んだ風の話し方で》

《フェラ 全体を口に含んで舐める》

んう…ん…れろれろ…あ…ちゅ…あむ…れろ…ちゅ…れろ…あん…れろれろれろ…じゅるる。

《口に含んだ風の話し方で》

ねえ。

一応聞いておくけど…私の事覚えてる？
あ、覚えてるっていうか、見覚えある？

《一呼吸おいて》

ううん、分からないんだったら、別に。

ん…あむ…クチュ…れろれろ…ねえこれ気持ちいい？
フェラ。

初めてだから、やり方あってるか分からなくて。
どう？

《笑いながら》

最高？ そう、良かった。

《口に含んだ風の話し方で》

《フェラ 全体を口に含んで舐める》

ん…はあ…んっんっ…れろれろれろ…ちゅば…ああむ…はあ…ん…ちゅ…れろ…んっ。

《口に含んだ風の話し方で》

出る？

いきそう？

うん、いいよ、そのまま。

お口にどうぞ。

全部受け止めてあげるから。

《口に含んだ風の話し方で》

《フエラ 激しく前後にストローク》

ん…じゅぼじゅぼじゅぼじゅぼじゅぼ…んう…あむ…じゅぼじゅぼじゅぼじゅぼじゅぼ…。

ん、あ…んうううう。

※S E…射精音

《飲み込む》

ん…あむ…んっ、こく、こく、こく。

ん…変な味。

あまり美味しくはないかも。

まあ、飲めなわけでも無いけど。

あれ？

どうしたのお兄さん？

おーい。起きてる？ 寝てる？

ねえ大丈夫？ 生きてるー？

ってこれ、さっきもやったんだけど…。

《3秒沈黙》

爆睡じゃん…。

ま、吐くよりは良いか。

《顔をじっくり眺めるように》

ふうん…。

子供みたい。

ふふ。

おやすみ。

2.

《冒頭3秒沈黙》

あ、おはよー。

何、頭痛いの？ 薬飲む？

ロキソニンとかならあるけど。

あ、でもお兄さんは二日酔いか。効くのかな？

知らない？

じゃ、水飲む？

ん、了解。

※SE…足音

はいどうぞ。

《一呼吸おいて》

マシになった？

そう。

どうしたの？ ぼーっとして。

もしかして昨日の事、覚えてない？

えっと、お兄さんがベロベロに酔っ払ってて。

で、心配だからうちに連れてきて。

それで、私がその…ムラってきちゃって。

思い出した？

ふふ。

良かった。流石に口にするのはちよつと恥ずかしいというか。

あ、で、私はもう出るけど。

どこって、学校に。

ほら、制服着てるでしょ？

あ、知ってるうちの学校？

…そうそう、電車で行かなきゃいけないから。

で、お兄さんは大丈夫？

いや仕事。

遅刻しない？

《驚いて》

わ…！ そんな急に立たなくても…。

《安心させるような口調で》

大丈夫、ちゃんとお兄さんのも準備してるから。

えっと、はいスーツ。着れる位は乾かしたから。

これ、お兄さんのスマホ。充電しといた。

あ、シャツと靴下はこれ着てね。

朝ご飯はおにぎりラップに包んでるから、行きながら食べたらいいよ。

あ、あと。

一応、お父さんに挨拶だけしといてね。

《笑いながら》

ビビりすぎ。

ほら、そこ。

天井の隅っこに。

そうそう、その神棚。

あ、お線香はいいよ。神道だからいらないの。
手を合わせて一礼だけでいいから。

《5秒沈黙》

※SE…電車の音←

…どしたの？ 私の顔になんかついてる？

…ちよつと待って、このセリフ初めて使ったわ。

え？ なに？

見覚えがある？

え？ どっち？ 顔？ 制服？

《がっかりしたように》
制服かい…。

まあ、そりやそうでしょ、この路線うちの生徒よく使ってるし。

《一呼吸おいて》

《ジト目で睨みつけながら》
ていうか私、お兄さんと同じ車両によく乗ってたし。

やっぱ気づいてなかったか。

《気を取り直したように》
まあでも、最近あんま学校行けてなかったから。
無理もないけど。

※S E…電車の音→

あれ？ 止まった。

《一呼吸おいて》

線路の立ち入り…だって。
無理やり踏切渡ろうとしたのかな？

こんな事ならもうちよつとゆつくり出れば良かったね。
仕方ないけどさ。
でも飛び込みとじゃなくて良かったよ、本当。

…え、違うよね。誰かと事故ったら人身事故とかいうよね？
だよね。うん…。

《背伸びする》
あ…んう…。

《あくび》
はあ…あ。

お兄さん？
どうしたの？ もぞもぞして。

もしかして…大きくなった？

《笑いながら》

え？　なんでこのタイミング？

あ、もしかして。

さっき私をじっと見てた時にはもう大きくなってた？
昨日の事思い出して、とか。

《笑いながら》

お兄さん、エッチ。

でも…見てるだけで立つちゃうなんて…。
元カノの事、私で忘れた、って事かな？
流石にそれは自惚れすぎ？

えー？　本当に忘れた？

お兄さんそんなサバサバしてるようには見えないけど。
それとも、男の人はみんなフェラしちゃうとその人に夢中になっちゃう？

まあなんにせよ、大きくなったのはどうにかしなきゃ、じゃない？

《一呼吸おいて》

《囁き》

ねえ。

私がしてあげようか？

《→》

ほら、いいからいいから。

※S E…衣ずれ

静かにね。

カバンで下隠して。

チャックから手、入れちゃうね。

《一呼吸おいて》

あ、すご…。

硬いし…熱い。

※S E…手コキ←

《笑いながら》

あ、ぬるぬるしてる。

ずっと勃起してた？

ごめんね、気づかなくて。

でもおつきくなった時に言ってくればいいのに。

…って言えないか。

そりやそうだよね。

私を見てたらおちんちん大きくなりました、なんて。

でも、私も大概だし、別に遠慮しなくてもいいんじゃない？

そりやそうでしょ、男を家に連れ込んでフェラしちゃう女だよ？

お兄さん、制服のJK好き？

《笑いながら》

否定はしないんだ。

え？

私が可愛いから…？

ん…んう…。

照れるかも。

まあお兄さんの下手なお世辞として貰っとくよ。

じゃ、お札にいっぱいぬきぬきしないとね。

でもあんまり激しくするとバレちゃうから…指先でクチュクチュって。

お兄さんの大きいから大変だよ。

でもカリの所すぐわかるから、ある意味やりやすいかも。

どう？ さつきから…ほら、こうやって段差のところに、こり、こりつてやると腰ピクピクしちゃってる。

おちんちんの先っぽ、好き？ 感じる？

ん、了解。

ここいじめるね。

ふふっお兄さん可愛い。
声、我慢してるでしょ。

私、上手にできてる？

…そう、良かった良かった。

え？ いつもこういう事してるかって？

まさかそんな、そしたら私痴漢で捕まっちゃう。
そういう女だと思ってたの？

いや、普通そう思うか。

でも本当、した事ないし。
そもそも誰かこういうエッチな事も経験ないっていうか。

そうだよ？

告白は…まあ何回かされた事あるけど。
家の事が忙しくて、全部断ってたから。

でもそういう知識は…全然知らないわけじゃないし。
ほら、動画とか、なんかそういうので…。

でも、それだけ。

本物のおちんちん触ったのは、お兄さんが初めて。

あ、またビクンってした。
ぬるぬるも溢れてきた。

これってさ。

あ、射精する前に出てくるこのぬるぬる。
我慢汁…だっけ？

これ、おしっこみたいに自分で出せるの？
いや、わざと出してるんだったらお兄さん意地悪だなあと思って。
気持ちいいと出てくる？
それ精子とは別について意味？

へええ…。

あ、でも確かに、昨日舐めた時になんかヌルヌルしてた。
ほんと無意識なんだね。寝てても出るとか。

じゃ、昨日も今も、私で気持ちよくなってるんだ。
なんか嬉しいかも。

※SE…電車の音

あ、やば動き出した。
お兄さん、射精できそう？
おちんちんからぴゅっぴゅ、できる？

私、次で降りなきゃいけないくて。
そうだよ…だから早めに言ってくれば良かったのに。

《笑いながら》
謝らなくてもいいよ。

その代わりに、頑張つて。

《一呼吸おいて》

汗、すご。

《嗅ぐ》
すんすん。

ねえ。
実は、私もおまんこ濡れちゃつて。

気づいてた？ さつきから太ももを擦り合わせてるの。

…ふふ、だよね、お兄さんはそれどころじゃないもんね。
私、お兄さんの匂い好きだな。
なんか、興奮しちゃう。

《嗅ぐ》
すんすん。

頭がボーってして、頭の中がエッチな事でいっぱいになってく。

お兄さんは、どう？

私の匂いで興奮したりする？

…良かった。

お兄さんも変態さんで。

…そろそろ、いける？

射精、できる？

あの…お兄さんも気持ちよくなつてほしんだけど。

私のためにも…出して欲しいというか。

お兄さんの匂い、つけてほしい。

もう我慢汁でかなりやばいと思うけど。

やっぱ精子をぴゅっぴゅって出して。

マーキング。

してほしい。

俺のだって。

エッチな匂いつけて。

そしたらもう、今日はずっと取れないと思うから。

私、一日中これ嗅いでる。

お兄さんの事思い出しながら、エッチな妄想したいの。

いいでしょ？

だから…お兄さんも仕事中に思い出してね。

瑠璃は今頃授業してるのかなって。

先生の話聞きながら精子の匂い嗅いで。

ムラムラしてるのかな、って。

だから、ね？

射精しよ。

タマタマの精子、全部出して。

お兄さんの匂いでムラムラしちゃう変態JKに、マーキング、しちやお？

ぴゅっぴゅ、ぴゅっぴゅって。

ほら、出して。

出して出して出して。

いっぱい、いっぱい。

射精し…。

※S E…電車の音→

※S E…手コキ→

※S E…扉の開く音

あ。

《呆然と》

着いちやった。

ごめん。

私降りなきや。

《一呼吸おいて》

ねえ。

続き。

私の家、覚えてるでしょ？

またお仕事終わったら来なよ。

《囁き》

ちゃんとコンドームは買ってきてね。

じゃあね、お兄さん。

また後で。

3.

《冒頭3秒沈黙》

※SE…手コキ←

どう？

手コキ、気持ちいい？

うん。

じゃ、これ続けるね。

お兄さん。

今更だけど…ありがとう。

なにがって…ちゃんと来てくれて。

私、これでも結構嬉しいんだよ？

…ていうか、安心した。

だつて電車であんな事して…。

普通、ドン引きじゃん。

通報されたら、アウトだし。

《笑いながら》

こちらこそつて、何に？

あ、あれか。

電車であんな事してくれてありがとうって、そういう意味？

ふう〜ん。

いえいえどういたしまして。

変態さんなもので。

私も、お兄さんも。

ふふ。

で…あれから抜いた？

《笑いながら》

え？　そこ惚ける？

電車降りた後お、トイレでえ、オナニーしましたか？　　って意味だけど。
した？

《一呼吸おいて》

ふうん。してないんだ。

《あっけらかんと》
私はしたよ？

お兄さんのぬるぬるがついた手で、おまんこクチュクチュして。
3回いった。
学校、遅刻しちゃった。

ねえ、電車でも言ったけど。
ほんと、こういうのお兄さんが初めてだから。
誰にでもしてるって、思わないでね？

そう、お兄さんは特別なの。

《笑いながら←》
本当本当。
ちゃんとね、理由もあるから。
《⇒》

えー。
まあ、言ったらお兄さんに命救われた？　　みたいな。

いや、嘘じゃないって。

また今度教えてあげるよ。
気が向いたら、ね。

と、こ、ろ、で。
ちゃんと持ってきた？
コンドーム。

《笑いながら》
さっすが。

それじゃ、する？
…うん。

※手コキ→

※S E…衣ずれ

あ、私がつけてみていい？
いや、どういのか気になって。
うん初めて触る。

コンビニとかで売ってるのは知ってたけど。

ん…。

コンドームって…こんなぬるぬるしてるんだ。

え？ ゴム？

ああ、そう呼ぶの？ へえ…。

えっと。

あれ？

これって裏表あるの？
どっちがどっち？

お兄さん？
なんでそこで黙っちゃうの？
教えてよー。

ん、まあとりあえずつけてみるけど。

※S E…衣擦れ

ん、全然つけられない…。
逆？

…あ、被せてクルクルしたらいい感じに着けるようになってるんだね。
ん…あれ？ これであってる？
なんか、ブヨブヨしてるっていうか、すぐ取れそう…。

《＝呼吸置いて》

あ、そっか、皮も中に入れないとダメなんだ。

え？ ごめんって何が？

かせいほうけい？

ああ、おちんちんの皮が余ってるやつ…。そういえばなんか聞いたことある。
それってダメなの？ 病気？

《曖昧に》

ふうん。

よくわかんないけど…お兄さん普通におちんちん大きくなるし、射精もできるし。
エッチできるんなら、別にいいんじゃないかな？
逆にそれじゃダメ？

《笑いながら》

ならいいじゃん。

それじゃ続きを…。

よいしょっと。

ゴムの中に、皮も…。

《慌てて》

あ、ごめん引っ張っちゃった。

大丈夫？ 痛かったよね。

痛くないの？

あ、皮って感覚ないんだ。

でも…大丈夫って言われても、なんか怖いっていうか。

嫌じゃん、人の皮膚引っ張るのとか。

もう見るからに痛そうで無理。

でも難しいな。また皮も摘んじやいそう。

んしょ、と…。

これで、大丈夫？

なんか、すごいね。あんなに小さかったのにこんな伸びるんだ。

めっちゃ薄くなったけど、破けたりしないのかな。

大丈夫？

擦れて…その、摩擦的なアレでびりってなったりしない？

さあ…つて。

お兄さん、経験的にそうなった事は？

…なんで黙るの？

…ない？ 本当？

まあ…その時はその時か。

それじゃ、入れる？

あ、私横になる？

うん、じゃあ。

よいしょっと…。

※S E…衣ずれ

ど、どうぞ。

よろしくお願いします…。

※S E…挿入音

あ、あ、あ…！

んう…。

や、やば。

お、大きいし…。

それに、入れただけで気持ちいいところに当たって。

はう…。

んう…。

あ、ちよ…あ、あ。

んう…。

全部、入った…？

やば…んう、奥、当たってる。

ちよっと、これ、すご…。

え？ あ。ううん、そんな、痛くはない。

むしろやばいというか。
ちよつと動くの待ってね。ゆっくり、慣らさないと…。

※SE…セックス←

あ、あ、ちよつとお兄さん、タイムタイム。
動いちや、あ、や、あうう。

私、まだ準備、できてないのに…。

や、だめ…あううう…んっ…あ、あ、あ、んう…あんっ…んう…あんっ…んう…あつ。

ダメ、ダメだって、本当。

ち、違う。痛いとかじゃ、なくて、その、あ、き、きついんだけど、本当に、その、気持ち良すぎて。

嘘…やば…。

は、初めて…なんだよ？
本当に…。

あ、相性が、いいのかな？
私と、お兄さんの。

ひやつ、あ…あうう。

あ、あ、あ…！　そこ、やば…。あんっ！　腰、ギュッて押さえつけられたら…！

あ、ううう…だめ、ああ、い、あう…んっ、あ、くう…だめだめ…んうう…あんっ。

奥、やばいい…。

あ、そこ、あううう、先っぽ、奥に当たって…！

あっあっんう…やつあつ…うううあんっ…や…ううあっあっあっあっあつ…ううう…。

意地悪う…。

待ってって、タイムって、言ったのに。

《笑いまじりに》←

ごめんって…お兄さん腰、全然止まってない。

反省してないじゃん…。

《⇒》

あう…んっ、あ、やつ…くふう…ん、あ、あ、あ…あうう…。

お、お兄さんは、どう？
私のおまんこ、気持ちいい？

ん…あうう…ひゃ、あんっ、あ、んう…ひやう…。

ふふ。最高、なんだ。
ホントに？ 気持ち、いい？ …んっ、病みつきに、なっちやう…あんっ。
へえ…そうなんだ。

ん…えいっ…！

あ、すごい…あんっ、お兄さん、苦しそうな顔した。
うん、下にぎゅって力、入れてみた。
おまんこ、きつくしてみようって思っ
痛かった？ それとも、気持ちよかった？

ふふ…気持ち、いいんだ。
私も、気持ちよかったよ。

おちんちんの形におまんこがピタって合わさって…んっ、すごく、良い。
エッチって、こんなに気持ちいいんだね。
知らなかったよ。

《キス 舌を絡め激しく》
あむ…ちゅ…んっ…ちゅうう…はあ…くちゅ…んっ…ちゅ…ちゅ…あう…ちゅうう…ん。
キス、したかったの？
…ふうん。

そういえば…初キス。
うん…私にとって。
ふふ、奪われた。

あんっ…あ、んっんっ…あう…ひやう…んっ、あうう…いい…んっあっあっあっ…んうう
う、あうう。

ちよ、はげし、すぎ…！
それに、もっと深いところ、当たってる。
あうう…んっ、あっ、ひやううう…。
腰、パンパン、すごすぎて…奥に当たりすぎて、おかしく、なりそう…。

うん、奥、好きい。お兄さんのおつきいおちんちんで、突かれると、すごいやばい。ねえ。キス。もつとして。

《キス 舌を絡め激しく》
んちゅ…んう…ちゅ…あ…ん…ちゅう…はあ…んっ…ちゅ…あ…ちゅう…はう…んっ…

お兄さん、キスも、上手いね…。
唇も柔らかいし、激しくしてくれるし、なんか…好き。

あつ、んうう…あんっ…あつあつあつあつ…。

あ、ふふ。
お兄さん、汗。
垂れて、きた。

ううん、いいの。
頑張つて…あんっ、動いてくれてるって、感じがして。
嬉しい。

でも、もうそろそろ、かな？
おまんこしめてないのに、さつきよりも、苦しそうな顔してるよ？
それって…んっあつ…さつきよりも、気持ちいい、って事だよ？

ん、あう…うう…あんっ…ん…あつあつあつあつ…いい…あううう…や…ん…あんっ…。

出したい？
…うん、いいよ。
いっぱい、ピュッピュして。

もつと…もつともつとついて…！
私が、壊れちゃうくらい、いっぱい。
気持ちよさで、もつと頭おかしくなるくらいに…。

ひやっ…あんっ…あ、あ、あ、あ…んううう…ひやう！ あんっ…あつ、んう…。

や、やばい、腰、めっちゃ早い…。
壊れる、かも。お兄さんに、おまんこ、壊されちゃう。

ううん、いいの。そのまま。
お兄さんの気持ちいように…。

おちんちん、限界？

いいよ。

出して出して出して。
いつて。

私のおまんこで、気持ちよくなって…！

※SE…セックス→

※SE…射精音

ひゃうううう…！

あ、あ…出てる…。

すご…めっちゃびくびくしてる。
ん…あう…。

全部、出た？

ん…、しっかり出しやん。
気持ちよくなって…。

どうしたの？ ギュッとして。
疲れた？

うん…。

このまま、寝ちやう？

いいと思うよ。
頑張ったなら、休まないと。
体おかしくなっちゃうよ。

《3秒沈黙》

ふふっ。

お休みなさい。

《心境について…父が死んでから明かりのついていない部屋に帰るのが怖い…一人でいるのが怖い。いつもは明るいうちに家に帰るようにしているが、この日は天気も薄暗く時間も遅くなった。そのためお兄さんの部屋に来たくなった》

《冒頭3秒沈黙》

※SE…インターホン

※SE…雨の音

※SE…マイク越しのくぐもった声←

あ…お兄さん？。

ごめん、私。

ちよつと、近くまで来て。

今、大丈夫？

※SE…足音

※SE…ドアを開ける

《気軽な挨拶 片手を小さく上げて言う感じ》
よ。

ごめんね夜に突然。

うん、あのー…。

《一呼吸置いて》

ごはん。

食べた？

よければ一緒に、と思って。

あ、うん、上がる。

おじやましーす…。

※SE…ドアを閉める

え？ ああ、そうだね、結構降ってる。

でもついさっき振り出したところだから全然。

…えー、そんな濡れてないよ。

あ、タオル…。
うん、ありがとう。

※S E…衣擦れ

いや、ね。今日色々…補習とかあつて。
私は出席足りてないから、毎日補習なんだけど。
今日はいつもより遅くなって、周りも暗くなつたし。

《一呼吸おいて》

学校からだとき、うち帰るのもお兄さんち行くのもほとんど一緒だから。

《少し明るく》

ほら、お兄さんこの間言ってたじゃん？ たまにはうちに遊びに来たら、つて。
知り合つてから、ずっとお兄さんがうちに来てばっかだったでしょ？
私もお兄さんの部屋行つてみたかつたし。

あ、冷蔵庫借りるね？ 鮭買ってきたけど、食べれる、よね？ ムニエルにしようかなつて思つてるけど。

※S E…衣擦れ（後ろから抱きしめる）

あ、ん…。
どうしたの？ 急にぎゅつてして…。

あ、わかつた。濡れた制服は初めてだから、むらむらしちゃったんでしょ？
もー、エッチなんだから…。

え？
大丈夫かつて…。

…別になんでもないよ？
学校は楽しんでるし、毎日おなか一杯食べてるし。

友達もそれなり、お金は困つてない。
相性の良いお兄さんもいる。
高三だし、進路とかそういう悩みはあるけど。
親のいない十代の中では、トップクラスに幸せでしょ、これ。

《笑いながら》
心配性だなあ。ありがとうね。

《一呼吸おいて》

でも、このままぎゅってされたい気分ではあるかも。

※SE…衣擦れ

…ふふ。

お兄さん、お尻、硬いの当たってるよ。
わざと？

いいよ謝らなくて。

私は…結構嬉しいよ？

ムラムラしてくれて。

やっぱり制服の効果は絶大かな？

だってほら、男の人ってこういうの好きでしょ？

よく痴漢とかもあったりするし。

あ、いや、私じゃなくて友達とか…。

まあ、私も全然ないわけじゃないけど。
うん、何度か。

《一呼吸おいて》

ありがとう、怒ってくれて。

やっぱり、お兄さんはいい人だね。

ねえ。

お兄さん。

目、瞑って。

《キス ついばむように》

ちゅ…ん…くちゅ…ちゅ…あ…ちゅ…ちゅう。

…どう？

私からのキスも、上手くなったでしょ？

《キス 激しく》

んっ…ちゅ…ん…ちゅ…くちゅ…んっ…ちゅうう…あう…ちゅう…はう…んっ…ちゅう。

でも…まだお兄さんからの方が上手だね。
すぐエッチな気分になっちゃう。

※S E…衣擦れ

や、ちよつと、嗅いじゃ、ん…。
あ、あ、んう…。

い、いや。

濡れちやったし、今日体育もあつたから。
ちよつと、気になる…。
だから先お風呂…。

《笑いながら》
ちよつともう。

いい匂い、とか。
そんな報告、いらな…い…。

ふふ…。
こーら。

もう…ワンちゃんみたい。

※S E…衣擦れ

あ、下、撫でるのはちよつと…。
あつ、んうう…あんっ…あつあつあつ…。

え？ パンツ、濡れてる？

あ、雨とかじゃ、ないかな…？

うう…。

だつて…お兄さんがおちんちん押し当てるから。

ねえ。

直接、触って？

この間してくれたのがいいかも。
二本入れて、おなかの裏あたりを撫でる奴。

ううん、ベッドじゃなくていいの。

立ったまま、後ろから。
お…襲う、みたいな。

※SE…衣擦れ
※SE…手マン←

ひやつ…！ あ、んう…あ、あ、んうう…や、あう…。
そう…そこっ…！ あ、ん…あうう、ひや、あんっ…や、あ、あ…。

うん、めっちゃ、好き。

お兄さんの手、ごつごつしてて、でも優しくて…あんっ…！
んう…どうして、気持ちいとか、分かっちゃうのかな…？

え？ そ、そんな、顔に出てる？
やだ…見ないでよう…。

んう…。そんなに、えつちな顔？
それ…めっちゃ不細工じゃん、絶対。
あ、んう…。

ああ…んっ。
もう、かわいって、言い過ぎ。
え？ あっ…学校、で？ そんな、全然、もてないよ。

他にかわいい子、いっぱいいるし…。
お兄さん、ぐらいだよ。こんな、夢中になる人。

うん…お兄さんだけ。専用…みたいな？
好きにしたいし…。
それに…もっともっと、気持ちよく…してほしい。

あ、あ、あ…。ちよ、そこ、やばっ。
あっあっんう…やつあっ…うううあんっ…や…ううあっあっあっあっ…ううう…。
指、激しい…あうう…そこ、あ、んっ…やんっ…あうう…あ、あ、あ。
おまんこの中で、くちゆくちゅって…。あんっ、すごい、エッチなお汁が溢れて…！

や、だめ…あううう…んっ…あ、あ、あ、んう…あんっ…んう…あんっ…んう…あっ。
お、お兄さん。もつとぎゅってして。
足、力入らなくなってきた、その、ガクガクで。
立ってられない…。

ひやつ…！ あ、あ、そこ、やば…。
だ、だめ、止めないで…！ そのまま、そのままして…！

んっんっ…あっ…ひやう…んっ、あうう…いい…んっあっあっあっ…んううう、あうう。

いく…！ 気持ちよくなつて、いい？ このまま、いきたい。お願い、お願いします。
あううう、激しくなつた…。あんっ、あ、お尻、お兄さんの固いの、ごりごりされてる…！

あ、あ、いく、いっちやう…あんっ、あ、んっ…あ…んっ…うう…あ…んう…っ…あ…ん。
いく、いっちやう…！

※SE…手マン→

…っ…！ あ…んううう…！

《一瞬息を止める》

…っ。

《荒く浅い呼吸を繰り返す》

はあ、はあ、はあ、はあ…！

や、やば…。

なんか、この間より上手くなってる。

《冗談っぽく》

誰か他の人とエッチした？

なんて。

※SE…衣擦れ

あ、あ、ちよつとお兄さん？ まだ、いったばかり。

※SE…挿入

ひやううううう…！

あ、あ、あ、来てる、奥まで…。

※SE…セックス音←

お兄さん、あううう…！
ゴムも、つけてないのに…。

ううん、いい、の。今日は、大丈夫な、日だし…。
それに、お兄さんだったら別に。

あつあつんう…やつあつ…うううあんっ…や…ううあつあつあつあつ…ううう…。

お兄さんの、いつもより大きい。
おまんこ、いつもと違うとこ、ごりごりつて、されてる。

すごく、すごくすごく良い…。やばい、頭おかしくなる。
中毒になっちゃうよ…。お兄さん、がないと、ダメな子になっちゃう。
いい、の？ 私、めんどくさいよ？

あんっ…。んううう…。
ふふ…。ありがと…。

ねえ、もつと私の事、抱きしめて。
もつと奥まで、お兄さんのおちんちん感じたいから。

俺のだ、って。お兄さん専用だつて、体に、教えて？
お兄さん、いつも優しいから、そういう乱暴なところも、感じてみたい。

あうう…そこ、あ、んっ…やんっ…あうう…あ、あ、あ。

し、子宮の奥、当たってる。
やば…。

ねえ…。もつと、色んなとこ、触って？
おっぱい、とか…足、とか…。どこでも。
お兄さんに触られるの、好きなの。
暖かくてごつごつしてて、エッチな手。

ね？ いいでしょ？

※SE…衣擦れ

あうう…。おっぱい、気持ちいい…。
ふふ…。おちんちんはこんなに激しいのに。

おっぱい揉むのは優しいんだね。

あ、んうう…。
ち、乳首は…。

ううん、ダメなわけじゃないけど。
感じすぎちゃうから。

ひやつ…！ あんつ、あう…あ、あ、んうう…あんつ、あ。

そんな、指先で…んっ…こりこり、つままれるのは…あうう…。
やつぱ、変態さんだ。

んっんっ…あ…。

なんか、腰、早くなった？
いきそう？

…うん、いいよ。
好きな、ところに…いっぱい。

お兄さんが、出したいところに、出して…。

な…中でも、いいよ？

あっ…んう…あ…やつ…んう…あんっ…くうう…あう…んっ…うう…あう…んっ…やつ。
いいよ、いつて。白いのぴゅっぴゅ、して。ほら、早く…我慢、しないで。

んっんっ…あっ…ひやう…んっ、あうう…いい…んっあっあっあっ…んううう、あうう。

出して出して。

精子…ちようだい…。

奥に…ピュピュツ、種付け、して…！

※S E…セックス音→

※S E…射精音

んうううう…。

はあ…はあ…。

お兄さん？

精子、どこに出して…。

あ、やっぱり…。
外。

スカートに、べっとり…。

もう、中でいいって、言ったのに。

え？ ごめんって…。

あ、生でした事？

そこ気にしてるの？

大丈夫だって。うん、生理前。

最近はちゃんと予定日通りに来るから。
ずれてないと思うし。

それに、さ。

ゴムつけるの忘れるくらい、我慢できなかったって事でしょ？

それ、私的にはだいぶ嬉しい。

まあ、でもさ。

もしどうしても申し訳ないっていうなら。

私、お腹、すいちゃったの。
作るの面倒になってきたし。

どっか、食べに行こうよ？
ね？

《冒頭3秒沈黙》

※SE…居酒屋の喧騒

お兄さんの仕事ってどういうの？

設計？　ビルとか家とかって事？
産業機械？

それってどういうの？

《曖昧に》
ふうん。

私は多分そういうの無理。
計算とか苦手だから。頭悪いし。

えー、要領よくないよ。
家の事はもうずっとやってるから、出来るだけで。

大人はホントすごいよ。
仕事しててさ。

私はできる気がしない。
ずっと学生でいたらいいのに。

《一呼吸おいて》

あ、なんか飲む？
ジンジャエール？

お兄さん、全然飲まないんだね。
いやほら、初めて会った時がさ、酔い潰れてたから。
すごい飲む人かと思ったら、ちつとも飲まないし。

…ああそっか、あの時はやけ酒だもんね。

《店員さんと呼ぶ》
あ、すみませーん！　注文…。

《一呼吸おいて》

あ、ジンジャエール1つと、あとお冷…。
え？ あ…私も好きなの頼んでいいの？

でももう結構頼んじゃってる…。
え、あ…。

じゃ、これ美味しそう。カルアミルクって…。
あ、お酒か。じゃ、えっと、あー、えー…。
オ、オレンジジュースで。

えっと、以上で。
はい、お願いします。

《一呼吸おいて》

お兄さんはこういうところよく来るの？
…誘われたら？ ああ、飲み会ってやつ？

私？

私は、初めて…ではないなあ。

お父さんはお酒飲む人だったから。
たまにこう言うところで晩御飯食べたり。

逆にファミレスとかの方が行った事ないかも。
うん、家族でそういうところ行かなかったから。

《一呼吸おいて》

うち、父子家庭だったんだよね。

でも死んじゃったし。

いつかつて？

それは…まあ、お兄さんと会う、一週間くらい前？

《笑いながら》

驚きすぎ。お兄さん、めっちゃ顔に出るじゃん。

《世間話をするように父の死を話す、深刻すぎないように、でも切なげに》

お父さん、癌でさ。

最初に分かったのがもう三年位前かな？

始めに見つかったのは肺なんだけど。
でもお医者さんは大本の癌がどこにあるはずだーって。
ずっと探してて。

最初の頃は、まあまだ元気だったんだよ。お父さんも。

けど入院繰り返し返してるうちにどんどんダメになっていつてさ。
癌、治しても治しても再発して。

あーだこーだしてるうちに、大本がどこかとか、そういうのどうでも良くなるくらい、癌、
広がっちゃって。

もう最後の方は治療っていうより、どうやって今日死ないようにするかって感じだった。

腕から栄養流し込んだり、喉にチューブで空気入れだり。

色々と頑張ってたけど。

結局骨と皮だけのがりがりになってさ。

そのまま死んじやった。

《⇒》

《3秒沈黙》

お母さん？

は…私が小学生の頃に離婚して。

生きてると思うけど、連絡先知らないし。

でも市役所の方が住所調べてくれてて。

ほら、お父さんが死んだ事、知らせないといけないから。

それに、まあ、会えるならちよつと会ってみたいし。

《店員に対して、ワントーン高く》

あ、はい。ジンジャエールはあつちに…あ、オレンジジュースは、はい。
ありがとうございます。

《一呼吸おいて》

ま、そういう事。

いや全然…大丈夫だよ。もうだいぶ前に心の準備できてたっていうか。
もう脳にも癌広がってたから。

最後の一カ月はろくに会話もできなかったし。

お医者さんも口には出さなかったけどさ、もう誰が見てもダメじゃんこれって感じで。そう考えると、事故とかでいきなり死んじゃうよりかはいいかなって。

生活も、ほらお金も…遺産とか、それに遺族年金？ あるから。

私も来年は高校卒業だし。

大学行けるかは微妙だけど、贅沢しなければあと何年も無職で暮らせるし。だから、大丈夫。

まあ、でも。

たまにお兄さんが来てくれたら。

嬉しいかも。

とか言ってみたり。

《冒頭3秒沈黙》

※SE…遊園地

はい、これ。

お水、売ってなくて。

サイダーだけど。

《3秒沈黙》

大丈夫？

まだ気分悪い？

ジェットコースター、苦手？

《笑いながら》

なんか、ぽい。

お兄さんって感じ。

《⇒》

いい意味…だよ？

一応。

ねえ。

なんで誘ってくれたの？

仕事忙しそうだったのに、いきなり遊園地行こう、とか。

しかもパーク内のホテルまで取ってくれるなんて。

高かったでしょ？

《笑いながら》

嘘だあ。絶対高いって。

《一呼吸おいて》

…気、使ってくれたんでしょ？

この間、暗い話したから。

あの…そういうつもりで言ったんじゃないかってね。

ただ知って欲しかっただけというか。

もちろん、こういうのめっちゃ嬉しいんだけど。
別に、いつも通り接してくれたらそれでいいんだよ？

てか…お兄さんホント大丈夫？
顔、真っ青…。

ふふっ。

なんか、初めて会った時みたいだね。
お兄さんが酔い潰れて、私が家に連れて帰って。

《意味深な感じに》
ねえ。

一回、ホテル戻らない？
ちよっと横になって、それから乗り物回ろうよ。

《⇒》

《5秒沈黙》

※S E…遊園地（遠）

※S E…衣擦れ

あ、お兄さんベッド座ってて。
お水…あ、あったあった。
はい、どうぞ。

…ワイシャツ、脱いだら？
汗かいてるでしょ。拭いてあげる。

※S E…衣擦れ

…ねえ、上全部脱いじやおうよ。
いいからいいから。

※S E…衣擦れ

そのまま仰向けになって。

※S E…衣擦れ

《乳首をなめる》
あむ…ちゅ…ん、れろれろ…くちゅ…れろ、ん、ちゅ…。

…お兄さんは寝てて。
今、汗拭いてるところだから。
いや、舐め取ってる、か。

《乳首を中心に上半身をなめる》
あ…ん…くちゅ…れろ…んちゅ…ん…ちゅ…あむ…れろ…ちゅ…れろ…あん…ん…れろれ
ろ…。

…えー、臭くないよ。
良い匂いする。
お兄さんの香り。
私の好きなやつ。

あのね…。
途中から、お兄さんとエッチすることばつか考えてたんだ。

なんか、お兄さんといるとエッチになっちゃう。
…お兄さんのせい、だよ？ 多分。
だから、責任とってね。

《乳首をなめる》
んう…ん…れろれろ…あ…ちゅ…あむ…れろ…ちゅ…れろ…あん…れろれろれろ…じゅる
る。

ふふ。
乳首、硬くなってきた。

指先ではじくと…。
あ、可愛い声。

さてさて。
おちんちんの様子は…。

※S E…衣擦れ

おお。
体調、戻ったみたいだね。
ねえ、今からまたパークに戻る？
それとも…。

《囁き》

私と気持ちいい事、続ける？

ふふふ。

《以下、イメプレ風。声色は変えず口調だけをお姉さんっぽく…全体的に冗談っぽく、じやれあう様に》

それじゃお客様は動かないようお願いします
お姉さんの指示に従ってくださいね。
今から、マッサージをしますので。

※SE…手コキ←

《乳首をなめる》

くちゅ…れろ…んちゅ…ん…ちゅ…あむ…れろ…ちゅ…れろ…あん…ん…れろれろ…。

そう、ですよ…。これは、単なるマッサージです。
とても…男性のお客様に人気があるんです。
ええ、気持ちいいと評判で。

あ、声の方は我慢しなくて大丈夫です。
むしろ出してもらった方が…んちゅ…もっと楽しめますからね。

《乳首をなめる》

ん…れろれろれろ…あむ…んはあ…じゅるる。

あらあら。

おちんちん、すぐヌルヌルになつてきちゃいました。
どうしてでしょう？ 私はただ、お客様の疲れをとっているだけなのに。

あ、こら。動いちゃダメです。
もう、腰をそんなひくひくさせて…。
じつとしてください。

《乳首をなめる》

ちゅ…あん…む…ちゅ…あむ…んう…ん…れろれろ…あ…ちゅ…むう…ん…れろれろ…ちゅ。
んう…ん…れろれろ…あ…ちゅ…あむ…れろ…ちゅ…れろ…あん…れろれろれろ…じゅるる。

お客さん、ずいぶんとかわいい声ですね。

そうだ、いつそのこと窓を開けてしまいませんか？
パークを楽しんでる皆様にも、その素敵な声を聴いてもらいましょう。

ふふつ、急に我慢して。
でも、おちんちんの方はギンギンのままですよ。
固くて熱くて、腰のびくびくだつてさつきよりずっと激しくなってます。

《囁く》

大丈夫ですよ。

お客様のかわいい声は、私だけのものですから。

だ、か、ら。

もつともつと、聞かせてください。

※S E…手こき→

※S E…手こき（早）←

《思わず漏れるような吐息》
ん…ふう。

《5秒沈黙》

…可愛い。

すごく素敵です。

その気持ちよさそうな顔。

子供みたいな声。

ほらここ…おちんちんの、段差…カリのとこ。

ここ、好きなんですよね？ こり、こりつてされるのたまらなく気持ちいんですよね？

でも、知ってますよ。ここだけ苛めてても、おちんちんはぴゅっぴゅできないって。

気持ちいいのも、だんだんもどかしさに代わるんですよね？

射精したくてたまらないのに。

それができないもどかしさ。

《以下、イメプレ風。声色は変えず口調だけをお姉さんっぽく…全体的に冗談っぽく、じやれあう様に》

《以下、お姉さんから元の瑠璃へと戻っていく》

そう、その苦しそうな顔。

素敵。

ねえ、私を見て。そのまま。

可愛い。うん、すごく、いい…。

ああ…。

頭の中も見れたらいいのに。

お兄さんが何を考えてるのか、知りたい。

私の事でいっぱいになってほしい。

辛い事も楽しい事も、全部忘れて。

私との気持ちいい事だけで、いっぱいになって。

もうなってる？

ふふ。

ほんとかなあ。

でも、ありがとう。

《以下、お姉さんから元の瑠璃へと戻っていく》

《以下、いつもの瑠璃》

ね、お兄さん。

そろそろ限界、でしょ？

命令、してほしいな。

お願い、じゃなくて、命令。

おちんちん、気持ちよくさせろ、って。

手コキで射精させろ、って。

…うん、わかってる。お兄さんはそういう人じゃないって。

だから、これは私のわがまま。

私を舐けて。

お兄さんの物なんだって、分かせて。

《5秒沈黙》

…はい。

分かりました。

今から、お兄さんのおちんちんを射精させます。
どうか我慢せず、たくさんぴゅっぴゅしてくだい。

ん…あ…。

すごい、腰が浮き上がって…。
出る？ 射精、しちゃう？

はい、そのまま…。
私の手で射精してください。

※SE…手こき（早）→
※SE…射精

ん…！ あ、んう、あっ…ん…。

あ、まだ…。
すごい…今までで一番出てるかも…。

《3秒沈黙》

ん…。
全部、出たかな。
精子、あっちこっち飛んじやったね。

《体についた精子をなめる、吸いとる》
ん、ちゅ…れろれろ…ちゅ…ずずっ…ちゅ…れろれろ。

《飲み込む》
ん…こくっ、こく…。

ん、はあ…。

《笑いながら》
めっちゃぐったりしてる。
そんなに気持ちよかった？

《→》

いえいえ、どういたしまして。
でも…休憩しに来たのに、もっと疲れちゃったね。
じゃもうちょっと休んで…。

※SE…衣擦れ

あ、え？　うそ、お兄さん？
大きくなってる…。

《キス》

ちゅうう…んっ…ちゅ…うう…ちゅ…あうう。

えっちだ。

ふふ。

※SE…フェードアウト

あ…んっ…やっ…あっ…ひやううう…んっ、あ、あ、あ、やんっ、あ。

《5秒沈黙》

※SE…射精音

んっ、あ、んう…。

さ、さすがにもう出ない、かな？
ゴムも、もう全部使っちゃったし…。

うわあ…。

もう、真っ暗。

全然気づかなかった。

夜のショーとかあるけど、行く？

《笑いながら》
だよね。

よいしょっと。

お疲れさま。

…うん、お腹すいた。
レストラン？
でも高いし…どつか安いところでいいよ？　カップ麺にしよ、ほら、下にコンビニあったし。

ん…んうう。

わ、わかった。お兄さんに任せるよ。
でも、高くない所ね？

《3秒沈黙》

お兄さん。

実は、ちよつと相談があるんだけど。

いや、大した事は…。

ある…かもしれないけど。

その…。

お母さんの住所、が…分かって。

うん、前言ってたやつ。市役所の人が教えてくれた。

お父さんの事教えなきゃいけないんだけど…。

私が小学生の頃に離婚して…それつきり会ってないから。

ちよつと、一人で行く勇気が出なくて。

だから、その。

お兄さんに、ついてきてほしいんだ。後ろに立ってただけでいいから。

《3秒沈黙》

うん…。

ありがとう…。

お兄さんがいてくれて本当によかった。

《冒頭3秒沈黙》

《「」内のセリフは瑠璃の義理の妹のセリフです》

ねえ、この住所、ここらへんであつてるよね？

…なんか、すごい大きい家ばっか。

高級住宅街？

ふう…。

坂道きついね…。

毎日こんな坂歩くとか、しんどくないのかな？

あ、そっか。こんな家住んでる人はみんな車使うか…。

うわ、見て。

ドーベルマン…。

本物初めて見た。

犬かあ…。

懐かしい。

あ、いや、飼ってたわけじゃないんだけど。

昔、うちの近くに野良犬が住み着いた事あつてさ。

あ、うちって言っても、今のじゃなくて…。

まだお父さんとお母さんが一緒に暮らしてた時の家。

《笑いながら》

いやドーベルマンじゃないよ。野良犬がそれって怖すぎるでしょ。

たぶん雑種だけど…柴犬っぽくて、かわいかったなあ。

そいつにさ、一回、餌あげたらついて来た事があつて。

飼いたくて…そのままうちに連れて行ったらお母さんにすごい怒られたの。

元の所に捨ててきなさい、って。

結局、その犬は知らない間にどっか行ってたんだけど。

たまに思い出すんだよね。

元気かなって。

あと、あの時もっと粘つとけば今も一緒にいたのかなあ…なんて。

あ、ちょうどあんな感じの犬。

そうそうあの家の…。

《一呼吸おいて》

《緊張して》

あの家…かな。

住所、この辺、だよね？

お兄さんスマホもう一回見せて…。

うん…たぶん、ここ。

…すごい家。

うちのアパートと同じくらいあるじゃん。

《3秒沈黙》

ちよ、ちよっと待ってね。

その…心の準備が…。

ま、まあ。

日曜日の昼間だし。

どっか出掛けてるかもしれない、よね？

あ、お、お兄さんはどっか見えないところに。

ごめんね、着いて来いって言っというて。

でも一緒にいると、お母さん怪しがるかもだし。

うん、ありがとう。

ちよっと行ってき…

※SE…ドアが開く音

え？

《3秒沈黙》

あ…。

《3秒沈黙》

あ、あの。

わ、私。

《つばを飲み込む》
こく…

す、すみません急に。
でも、私、その。

瑠璃、です。

あの、あなたの、娘の…

お…覚えていますか？

《家の奥から》

「お母さん、車のカギあつたよ！ もう、またズボンのポケットに入れっぱなしに…」

え？

「え？」

《3秒沈黙》

「お母さん、この人誰？」

あ、あの…

「お客さん？」

《母「いや、知らない人よ」》

え？

し、知らないって…

あ、あの…
私…だけ。

瑠璃、なんだけど…

「えっと」

「なにか…ご用？ ですか」

《口から溢れるように》

あ、あの。

その…そう、お父さんが、死んじゃって、あのガンで。

お、お葬式はこの間したんだけど。

で、あの、きよ、今日は、それを伝えるに…来て。

それで…。

《⇒》

「お葬式？ お父さん？」

「お母さん、どういう意味？」

え…あ…。

「えっと…。すみません、私たちこれから出かけるので」

「あの、多分人違いかと」

※SE…足音

え…お、お兄さん？

「きゃ！」

あ…。

「や、な…。なんで怒鳴って…！」

「お母さん！ ドア！ ドア閉めて！」

お兄さん、いいの！ 大丈夫、大丈夫だから。
すみません！ 人違いです！ 間違えました。
もう帰るので！

「ちょ…！ やっ！」

「もう来ないでください！」

※SE…ドアが閉まる

《5秒沈黙》

ごめん。

《3秒沈黙》

帰ろう。

《5秒沈黙》

※SE…ドアが開く

ただいまー。

どうしたの？　上がりなよ。

喉乾いたね。なんかあったかな。

※SE…冷蔵庫を開ける音

あ、麦茶もう無いや。

途中でなんか買って来ればよかったね。

《後ろから抱きしめる》

※SE…衣擦れ

ん…どうしたの？　ぎゅってして。
慰めてくれてる？

今日は、なんかごめんね。
変なのにつき合わせちゃって。

《3秒沈黙》

犬、可愛かったね。
あれ、たぶん雑種じゃなくて、ちゃんとしたのだろうね。
ペットショップで買って、血統書付きで…。

《3秒沈黙》

お兄さん。

《キス》

ちゅうう…ん…あう…くちゅ…ちゅ。

※SE…衣擦れ

ねえ。

エッチしたい。

なんでって…そういう気分だから。
良いでしょ？

…まだ立ってない？

※SE…衣擦れ

《フェラ》

あ…ん…くちゅ…れろ…んちゅ…ん…ちゅ…あむ…れろ…ちゅ…れろ…あ…ん…れろれ
ろ…。
ちゅ…あ…ん…む…ちゅ…あむ…ん…ん…れろれろ…あ…ちゅ…むう…ん…れろれろ…あ
ん。

立ったよ。

…ううん、ゴムもいらない。
すぐ、ほしいの。
…いいから、横に…なって…！

※SE…衣擦れ

※SE…挿入音

あ、んううう…。
…っ…。

ううん、痛く、ない。
濡れてる…もん…！　ちゃんと、びしょびしょ、だし…！

※SE…セックス←

あ…ん…う…あ…や…ん…う…あ…ん…く…う…あ…ん…う…あ…ん…ん…や…
ん…ん…あ…ひやう…ん…あ…う…いい…ん…あ…あ…あ…ん…う…あ…う。

《以下、徐々に泣きながら喘ぐ》

《涙…喘ぎ…20…80》

あ…ん…う…や…あ…ぐ…す…う…う…あ…ん…や…う…あ…あ…あ…あ…あ…う…
…。

んっ…あっ…やっ…あうっ…ぐすっ…うう…あっあっ…や…うっ…あっあっ…うう…ぐす…。

《涙…喘ぎⅡ50…50》

あん…ぐす…うっうっ…あんっ、あ、ぐすっ…んっあっ…ぐすっ…あ、あ、あんっ…ぐす…うっ…あんっ、あ、あ、あ…ぐすっ…んっあん…ぐすっ…あ、あ、あ…んっ…あ…。

《涙…喘ぎⅡ80…20》

うううう…ぐすっん、あう…うう…あっ…ん…ぐすっ…あっあっあっあっ…ん…あううう…ぐす…や…ん…あんっ…。
うう…ぐすっ…ん、あっ…んう…ぐす…うっ…ん…ぐすっ…あっあっ…ん…ぐす…あうう…ぐす…ん…あっ…ぐすっ…。

《以下のセリフ 泣きながら←》

お兄さん。

下から…下からいっぱいついて。

私の体、興奮するでしょ？ おまんこ、気持ちいいでしょ？

好きにしているから。

壊れるまで…突いていいから。

お願い…。

ひやつ…あんっ、あう…あ、あ、んうう…あんっ、あ、ぐす…あんっ…あ、んう…ぐす…あう。

んっ…あ…んっ…うう…ぐす…あ…んう…っ…あ…ん…ぐすっ…んっんっんっ…あっあっいい…う…あっ。

んうう…あんっ…ぐすっ…あっあっあっあっ…ん…あうう…ひや、あんっ、あ、んう…ひやう…ぐす。

ぐすっ…う…ひやつ…あ、んう…あ、あ、んうう…ぐす…や、あう…あ、ん…あうう、ひや、あんっ…や、あ、あ…。

なんで…私じゃ、だめなの…。
うう…ぐすっ…んう…ぐす…。

※SE…セックス(遅)←

お兄さん？

なんで？ 腰、もっと動かして…

いきそう？

うん、いいよ。いって。

ゴム？

いいよ、いららない。いららないから。
中、出して。

子供？

いいの、今日、大丈夫な日だから。

本当…だって…！

それに…そんなの、お兄さんが心配しなくて…いいから…。

ねえ。

中にほしいの。

《むっとした感じで》

いって…言ってる、のに…！

※SE…セックス←

《以下、情緒不安定気味に。怒り↓悲しみ》

《怒ったように》

いい。お兄さんが動かないなら、私が動く…！

んっ…あう…、んっ…あ、あ…。

邪魔、しないで…！ 腰から、手どけて…！

お兄さん。

私の事嫌いな？

ん…あう…あっ、んっ…。

嫌いだったら、外に出して…！

そしてもうここには来ないで…！

《→》

《不安になったように》

ねえ、いいでしょ？

本当に大丈夫な日なの。

それに、絶対、お兄さんには迷惑かけないし。
責任取れなんて言わないから。

ホントお願い…。

《⇒》

※SE…セックス（速）←

ひゃう…あうう…そこ、あ、んっ…やんっ…あうう…あ、あ、あ。
奥、当たってる…あ、あ、んうう…あんっ、あ…んうう…。

お兄さん、お兄さん。

大好き。大好き。大好き。大好き。大好き。
だから、嫌いにならないで。

一人にしないで。

あ、ううう…ああ、い、あう…んっ、あ、くう…だめ…んうう…あんっ…あ。
いく、いく、いく…。

※SE…セックス（早）→

※SE…射精音

んっ…あ、あ…。

《呆然と←》

…外。

だしたの？

中でいいって言ったのに。
外、ダメだって…。

《⇒》

《3秒沈黙》

《すすり泣く》
う…う…ひくっ…んっ…ぐす…うぐ…んっ…ひくっ…ぐす。

《冒頭3秒沈黙》

※SE…頭をなでる音

※SE…衣擦れ

あ…。

ごめん、起きた？

いや…私もさっき目が覚めたところ…。

何してたのって…。

頭、撫でてた。

隣、お兄さん寝てたから。

寝顔見てたら、なんか、撫でたくなって…。

私、あの後寝ちゃった…んだよね。

うん、記憶飛んでて。

ベッド、お兄さんが運んでくれたんでしょ？

で、お兄さんもそのまま寝ちゃったと。

疲れてた？

…一人にできなかった？

…ごめん。

《一呼吸おいて》

ねえ。

エッチの時の言葉、取り消していい？

もう来ないで、とか。そのあたり。

お兄さんさえ良かったらさ。

またいつでも、来てほしいし。

その…。

面倒だったら、私から行くし。

ご飯作ってとか、エッチしたいからとか。

そういうのでも、全然、呼んでくれたら嬉しいし。

どんな関係でもいいから。

これで終わりは、やだな…って。

※S E…衣擦れ

ん…。

まだ、ぎゅってしてくれるんだ。

ありがとう。

やっぱ、優しいね。

本当、お兄さんがいてくれてよかった。

《はにかむように笑いながら》

…うん、だいぶ救われてる。

《3秒沈黙》

ねえ。

実はさ。

私、お兄さんに前にも助けられたんだよ。

今私高三だけどさ、高校入った時から、ずっと同じ時間に電車乗ってて。ちようど同じ車両に、お兄さんもいて。

…そうだよ、気づいてなかったでしょ？

まあでも。

私もその時髪も長かったし。

それに、病院と学校の往復で、家の事して、勉強もしてて。ひどい顔、してたらしいから。

覚えてないのも無理ないと思う。

それでね。

正直、私も最初は…お兄さんの事気にしてなかったんだ。いつもの人だ、ぐらいしか。

でも…いつだったかすぐ電車が混んでた日があつて。

私、その日痴漢にあつたの。

疲れてたのもあつたんだろうけど、すっごい怖くて、気持ち悪くて…。声出なくて。体固まつた。

その時、お兄さんが体を挟んで助けてくれたんだよ？

偶然かな、って思っただけだ。

お兄さん、ずっと後ろのおじさん睨んでたから。

ああ、私を助けてくれたんだって。

お礼、言いたかったんだけど駅に着いたらお兄さんすぐ出ちゃって。私も、お父さんの状態悪くなって…学校も休みがちになったから。会う機会も減っちゃって

それがね、お兄さんに助けられた一回目で、なんと二回目もあるの。

お父さんが死んだ日にさ、私…電車で飛び込もうと思ったんだ。

お父さんを棺に入れて、病室も片づけて、病院の人とか市役所の人と難しい話して。

そしたらすごい疲れちゃって。

帰らなきゃと思って駅にまでは行っただけど。ホームのベンチに座ったら、なんかもう立てなくなってる。

それで、ずっとお父さんの事思い出していた。

…お父さん、最後は癌が脳にまで広がったって、前言ったじゃん？

そしたらさ、人が変わったみたいに、怒りっぽくなって。家に帰らせろとか、何で俺がこんな目に、とか。

すごく、怖くて。

それに辛かった。

だって、どうしようもできなかったから。

その後さ、お父さん、肺もうまく動かなくなってる。

呼吸器入れるために喉を切ったら、声も出せなくなっちゃったし。体だっけろくに動かなくて。

病室も集中治療室みたいなところに移されてさ。

テレビもラジオもない。

本とかスマホも持つ事だって出来なくて。

同室の人もいないし、そもそもしゃべれないし。

お父さん、一日中、天井見て過ごしてた。

私が隣にいても、ずっと。

私がいる事、気づいてるのかいないのかも、よく分かんない。

生きてるって言えるのかなって、ずっと思ってた。

動けないし喋れない。ご飯は点滴で、トイレだって看護婦さんにオムツ変えてもらって。

そんな姿をさ…思い出せば思い出すほど。

私も、今のうちに死んだ方がいいんじゃないかって。

そう、思えてきたの。

何十年も頑張って生きて、最後にこういう風に死んじゃうくらいなら。
十代の内に死んだ方が綺麗でいいなって。

《3秒沈黙》

だから電車に、飛び込もうとして。

黄色い線の内側で、電車が来るの待って。

来た、って思った時にね。

だだだだって、すごい足音が聞こえてさ。

見たら、お兄さんだった。

すごい必死な顔で階段上がってきてさ。

電車、まだ扉も開いてないのにそのまま激突しそうになってた。

遅刻しそうだったの？

覚えてない？

でね。

大丈夫かなあの人って思って、ずーっと見てた。

お兄さんが電車に乗れた時は、すごいほっとしたよ。

でさ、お兄さんせっかく座れた席をおばちゃんに譲ってるんだもん。
なんか、笑っちゃった。

うん、ホームから見えたよ。
全部。

電車が行っちゃうと、ついさっきまで死のうと思っていたのがどうでもよくなってた。
そのまま家にも帰れたし、また学校にも通えるようになって。

だから、お兄さんは命の恩人なの。

でもね…。

それから。

たまーにだけど。

夜一人でいるのが、すごく怖くなって。

そういう時は、夜散歩するようになったんだ。

疲れるまで歩いて、家に帰ったら寝て…って。

生活リズムも滅茶苦茶で、学校も行ったり行かなかったりだったんだけど。

そんな時に、お兄さんを見つけたの。

びつくりしたよ本当。

だって、命の恩人が酔いつぶれてるから。

お礼…したくてさ。

それに、このまま別れたら、もう会えない気がして。

連れて帰って、風邪引いたらダメだから服脱がして。

…ムラムラってなって。

フェラして…。

そしたら、隣にいてくれるようになって。

《一呼吸おいて》

ねえ。

だから、お兄さんには本当に感謝してるんだ。
出来たら、ずっと一緒にいたいって思ってる。

でも、お兄さんの重りにはなりたくないの。

重い、って思ったら…その、どっか行くとかはしないで、とりあえず言っしてほしい。
悪いところは直すし。

してあげれることってほとんどないけど。

エッチな事だったら…。

なんでも、してあげるから。

《一呼吸おいて》

…今、何時だろう。
九時か…。

ご飯、食べる？ おなかすいたよね。
ちよっと待っててね。何か作るから。

※SE…衣擦れ

うん？ どうした？
一緒にいる？

《心情説明…母親に他人扱いされたことで素直に言葉を受け止められなくなってる。自分から繋がりを求める気持ちがある一方で、他人からの繋がりは「いつ途切れるかわからないもの」という認識がある。》

《切なげに》
ふふ。

ありがとう。

優しいね、お兄さんは。

《冒頭3秒沈黙》

※SE…駅

お兄さん、仕事楽しい？
：そう。しんどいんだ。

私も、あまり学校は好きじゃない。
友達、実はいないんだ。
クラスでちよつと浮いてるんだよね、私。

《3秒沈黙》

ねえ。

お互い、今日はさぼらない？
いつもと反対の電車に乗ってさ。

海でも見に行こうよ。

※SE…電車

《5秒沈黙》

※SE…電車の中

《心情説明…二人の逃避行を受け入れてくれた主人公に対して愛おしさと共に、もし捨てられたら、という恐怖も生まれる。そのため都合のいい人になり下がろうとしている》

《フェラ 全体をなめるように》

ちゅ…あん…む…ちゅ…あむ…んう…ん…れろれろ…あ…ちゅ…むう…ん…れろれろ…あ…ん。

《口に含んだ風の話し方で》

ん、なに？
人？

大丈夫、だよ、たぶん。
そもそもあんまり人いないし。

切符の確認はさっき来たところだし。

それにほら、もし誰か来たら、お兄さんの膝枕で眠ってますよーって振りすればね？

《⇒》

《フエラ 全体をなめるように》
れろれろれろ…くちゅ…んうう…あむ…はあ。

《口に含んだ風の話し方で》

うん？ いい、って…なにが？
無理しなくてもって…

別に、私がフエラしたいからしてるだけだよ？
お兄さんというエッチな気持ちになっちゃうから。

そんな、気を使つてるとかは…。
まあその…。

いきなりわがまま言っただし、お金、使わせちゃってるし。
悪いなあとは…思ってるけど。

でも、お兄さんとエッチな事したいのは本当、だよ？
お兄さんは嫌？

私とエッチな事、したくない？

《一呼吸おいて》
良かった。

《フエラ全体をなめるように》
ん…れろれろれろ…あむ…んはあ…じゅるる。

《口に含んだ風の話し方で》

ねえ。

私とお兄さんって、どういう関係、なのかな？

何となく…一緒にいて、エッチとかしてたけど。
そういえば…くちゅ…告白とか、なかったなって。

《》

あ…。

ち、違うから。

その、彼女にしてとか、そう言うのじゃなくて…！
ほ、本当に…！

その…何となく気になっただけで。

お兄さんがどう思ってるとかは、別に…どうでもいいというか。
一緒にいれば、それで。

だから、別に答えなくていいというか。

むしろ答えないで…。

うん、いいの、本当。

《フェラ 全体をなめるように》

あむ…ちゅ…ん、れろれろ…くちゅ…れろ、ん、ちゅ…。

《口に含んだ風の話し方で》

あの。

お兄さんがしたければ、いつでも使っていいからね？

何って…あの、私を。

求められるの、嫌じゃないし。

お兄さんだったら、何されてもいいかなって。

あ、人前とかはさすがにあれだけど。

物陰とか、トイレとか。

勿論、電車でも。

《フェラ 裏筋を舌先で舐める》

れろれろ…あむ…んっ…じゅるる…れろれろ。

私、お兄さんのこと好きだよ。

大好き。

寂しい時一緒にいてくれるし。

助けてくれるから。

だから…。

ごめん、なんか重いね今の。

やっぱ無しで。

うん、気にしないで。

《⇒》

《フエラ 激しく往復する》
ん…じゅぼじゅぼじゅぼじゅぼじゅぼじゅぼじゅぼ…んう…あむ…じゅぼじゅぼじゅぼじゅぼじゅぼ…。

《口に含んだ風の話し方で》

いきそう？

うん。いいよそのまま口に…。

《⇒》

※SE…衣擦れ

え？

あ、ちよっとお兄さん？
どうしたの急に起こして…。

もしかしてどっか痛かった？
歯が当たったりとか…。
ご、ごめ…。

あ、んう…。

《キス》

ちゅ…んっ…くちゅ…ちゅ…んっ…くちゅ…。

え？ あ…。

好き？

って、私の事？

あ…え…？

ごめんって、何が…。

今まで曖昧にしててって。

あ、いや、そんな謝らないで。

こっちこそ申し訳ないっていうか。

だって私、わがままばかりだし、お兄さんに何もあげれてないし。
好きって言って貰えてすごく嬉しいけど、私はできる事なんてそんな…。

何もしなくていい？

そのままで？

…それは、だめだよ。

頑張らないと。

努力しないと、誰かの特別にならないよ…。

※S E…手マン←

あ、ちよ、お兄さん…あつ、んう。

《囁き》

だめ、お兄さん。

私、声そんな我慢できない…。

ひやつ…あ、んう…あ、あ、んうう…や、あう…。

んっ…そんな、可愛く、ないよ。

だって…可愛かったら。

お母さんだって、知らないなんて言ったり…。

あつ…んう…あ…やつ…んう…あんっ…くうう…あう…んっ…うう…あう…んっ…やつ。

お兄さんも、おちんちん、苦しいでしょ？

だってすごく大きい…。

最後まで…しようか？

あつ、んうう…あんっ…あつあつあつあつ…。

我慢？ 精子、ぴゅっぴゅ、しないの？

私の事が好きな、証明…？

体じゃなくて、私自身が？

何もあげられなくても、好きでいてくれるの？

んう…あつ、んっ…！

ううん、迷惑なんて、そんな
嬉しい。

本当に、嬉しい。

けど。

やっぱり不安で…。

お母さんも、お父さんも
いなくなっちゃったから。

だから、お兄さんもいなくなるかもつて。

んうう…あ、あ、あ…ひやううう…。

ごめん、ごめんね。

せつかくここまで言ってくれてるのに…。
私が、こんなので。

はっ…あ、あっ…んっ…く、ふっ…やあっ…あ…。

お、お兄さん。

そこ、やばい。

あ、あ、その、奥のそこ。

いく…いつちやう…！

あ、そんな、いじめられたら…。

あ、あ、あ、あ…。

いく、いく、いくうう…！

※SE…手マン→

ひや、あ…んっ…うっ…。
っ…！

…はあ、はあ、はあ。

《囁き→》

ご、ごめん。いっちゃった…。

い、椅子、汚れてない？ シミとか…。

《キス》

ちゅうう…んっ…ちゅ…うう…ちゅ…ちゅ…あうう。

気にしなくてもいい？

それは…だめだよ。

私のじゃないし。

でも…。

今は。

もう一回。

キス。

して？

海だ…。

すう…はあ。

潮の香りがする。

でも…誰もいないね。

そりゃそうか、時期が時期なら時間も時間だし。

もう、だいぶ暗くなってきたね。

今日、どこに泊まろうか。

安いところにしようよ。

お金、いっぱい使わせちゃったし。

でも、こちら辺ホテルも何もないね。
どうしようか…。

《一呼吸おいて》

あ、お兄さん。

あそこ。

なんか建物ある…。

海の家？

ああ…今もやってるのかな？

《一呼吸おいて》

だよね、普通夏限定とかだもんね。

…ねえ。

あそこ、閉め忘れとかあったりしないかな。

いや、忍び込めないかなあ、なんて。

良くない？

誰もいない海の家。

周りに家もないし。

エツチな声も聞かれないよ？

ね？

《5秒沈黙》

※SE…ドアを開く

あ、ほんとに開いてた。

お邪魔しまーす…。

誰かいたりしないよね…。

※SE…犬の鳴き声

きゃ！

え、え、なに？

※SE…走り去る音

え…犬？ 野良？

ここで寝てたのかな？

追い出しちゃった？

え…。

そんなつもりは無かったんだけど。

どこ、行っちゃったんだろ。

また戻ってきてくれるかな？

うう…ごめんよ。一晚だけ、寝床を貸してね。

…とりあえず、座ろうか。

いっぱい椅子あるし、どつか適当なところに。

よいしょっと。

さつきコンビニで買ったやつ、食べる？

おにぎり…昆布？ 明太子？

昆布？ うん。

はい、どうぞ。

私はジャムパン貰うね。

いただきます。

はむ…んっ、あむ…。

《飲み込む》

こく。

やっぱ、良いね。

静かだし。波の音しか聞こえない。
窓の向こうは海だし。

将来はこういう所に住みたいな。

えー？　だって懂れない？

なんか、街から離れて遠くの田舎とか…。
いや、どっちかっていうか、孤島がいいな。

たまに想像するんだよね。

授業中とか。

…お父さんの看病してた時とか。

どこか遠い島に行きたいなあ、なんて。

《楽しいに》

台風とかに巻き込まれてさ、船が難破して、みたいなシチュエーションで。
海に投げ出されて、私だけがどっかの小さな島に流れ着くの。

そこはさ、島全体が家族みたいで、みんな漁業とか畑仕事してのんびり暮らしてるの。
島の真ん中には小さな教会があったりしてさ。

お兄さんは…そうだな。私を一番最初に見つけてくれた、島の住人？
怪我してる私を看病してくれて。

元気になっても島を出る手段がないから、お兄さんの家に居候して。
でも家にはベッドは一つしかないから、お互い譲って。

《笑いながら》

結局二人して床に寝ちゃったりして。

で、島の仕事を手伝う内にお兄さんとも、島の皆とも仲良くなるの。

いっつもお兄さんと二人で、気づいたら島の人みんなから夫婦みたいに思われてて。

お兄さんはちょっと鈍いから。

誰かに、あなた達って付き合ってるの？　とか言われて。

それで初めて意識したりするんだろうね。

でも、告白はお兄さんからしてくれて。

二人で一つのベッドに寝るようになって。

初めてのキスも、えっちも、プロポーズも、全部そのベッドの上。

島の人みんながお祝いしてくれて、教会で結婚式もあげて。

お兄さん、子供は何人欲しい？

私は、一人かなあ。

たくさん育てる自信はないから。

でも…それなら女の子がいいな。

可愛いくて、人懐っこい子。

《楽し気に→》

《徐々に切なく←》

親子だけど、友達みたいに仲が良くて。

お休みの日は二人で買い物に行ったりしてさ。

家も、大きくて立派なのに立て替えて。

…大きな犬を飼って。

余った材料で犬小屋なんか作ったりして。

絵に描いたような幸せな家庭で。

それで…。

《→》

《鼻をすする》

…すん。

《切なげに←（涙交じりではない）》

なんか、あの子みたいだね。

ほらお母さんち行った時、一緒に出てきたあの子。

そういえば私、あの子の名前も知らないや。

《一呼吸おいて》

私じゃダメだったのかな？

休みの日に、買い物行く相手。

あの子と私、何が違うんだろ。

私、なんか悪いことしたのかな？

謝ったら許してくれたり…。

なんて。

《一呼吸おいて》

お兄さん、もう一つだけわがまま言っていーい？

《一呼吸おいて》

私、死にたい。

今が一番幸せだから。

お兄さんに好きって言ってもらって、一緒に悪いことして。
こんな遠くまで連れてきてくれて。

今まで生きてきた中で、一番幸せだから。
もう今のうちに死んじやいたい。

一緒に死んでなんて言わないからさ。
殺して、って言ったら殺してくれる？

《切なげに→》

※SE…衣ずれ

《キス》

ん…はう…ちゅ…んっ…ちゅ…くちゅ…ん。

…意地悪。

※SE…衣ずれ

ん…あったかい。

お兄さんの心臓の音、聞こえる。

ふふっ。

本気にした？

冗談に決まってるじゃん。

《キス》

ちゅうう…んっ…ちゅ…うう…ちゅ…あうう。

ねえ、お兄さん。

エッチしょ？

お兄さん、どんな事して欲しい？

命令してくれたらなんでもするよ。

…ううん、お兄さんに嫌われたくないとかじゃなくて。

いや、それもちよつとはあるけど。

なんか…色々考えるのがしんどくなっちゃって。

…ごめんね、こんなので。

ん？ なに？

そのまま？

座ってればいいの？

うん、足を開いて…。

パンツも脱ぐの？

うん、分かった。

ふふ…もうおちんちん入れちゃう？

うん、いいよ。まだちょっと濡れてないけど。
無理やり入れてくれたら。

※SE…衣ずれ

え、あ、お兄さんしゃがんだら。
ズボン汚れちゃうよ？

※SE…舐め音←

ひゃう…！
あ、んっ…やん。

だめ、だよ…。舐めたら…。
だって、洗ってないし。
汚い…。

あ、あ、そこ、ダメ…んっ、あう。

お兄さんが、そんな事しなくなつて…。
わ、私がしてあげるから。

だめって…ひゃっ！
私から触っちゃ、だめ？

うう…そんな…。
私がしてあげたいのに。

んっ…あ…んっ…うう…あ…んう…っ…あ…ん。

あ、あ、だめ…！ クリトリス、ばっかりいじめたら。
あううう…。あんっ。

お兄さん、舌先エッチすぎ…。
んっ、だめ、腰動いちゃう。

あ、んう…。
腰、ぎゅって抱かれるの。
それ、好き。

うん…お兄さんに触られると、気持ちいい。
で、でも…やっぱり下を舐められるのは…ちよつと…。

ひゃっ！ あ、ううう…！
舌、中に入ってきた…！

んあ…はっ…はあ…はううっ…んっ…んふっ…ふっ…ううっ…。
ううう、だめ、そんな、音立てちゃ…。

お、美味しい？

嘘、絶対美味しく、ないし…！
だって、エッチな汁…だもん…。
美味しい訳…。

くふっ…う、んんんっ…ふはっ…あ、あ、ああああ…。

あ、あ、そこ、やばい…。
入口の、あ、あ、そこ…。ううう…。
お兄さんのお口、熱い…。

お兄さん…！？
指、入れたら、あ、んっあう。
だめ、だめ。

んう、腰、動いちやう…。
あ、あ、そこ…！ ん、おまんこの、手前の方…。
そ、そこ。やばい…。

ん…あうう…ひや、あんっ、あ、んう…ひやう…。

お、お兄さん、お口、離して…！
だ、だって…いきそう…。
飲みたい？ だ、だめ、だって、絶対やばいくらい、エッチな汁出てくるし。

良くないい…！ ひやう…！ あ、あ、ダメ、ほんと。
と、止めて、お兄さん、お願い。
あ、あ、ダメダメ、いく、いっちやう。
いくうう…！

《絶頂を迎える》
んっ…あ、ん、あ…あ…。

や、やば…。

なんか…あつという間にいかされた。

ご、ごめんちょっとタイム…。

その…足に力入らなくて…。

※SE…衣ずれ

あ、あ。

お、下ろして…や、んう…は、恥ずかしい…。

ん、あ、お兄さん、どこ連れてくの？
て、テーブル…？

ん…あつ。

これも…押し倒されたって言うのかな？
テーブルの上に仰向けにされて。
なんか、料理みたい。

《冗談っぽく》

お兄さんに食べられちゃう…？

《キス》

ちゅ…んっ…くちゅ…ちゅ…んっ…くちゅ…。

…味見？

ふふ。

どんな感じだった？

食べれそう？

絶品？

食べ頃？

ふふっ。

お兄さん、たまに言葉が古いつていうか…。
変態さんなんだなって、感じ。

ううん、直さないで。

そういうお兄さんが好きだから。

ねえ。

私のおまんこ。

お兄さんの唾液と、私のエッチな汁で、
もう濡れ濡れ。

一気に、奥まで入れて欲しいな。
おちんちん。

ズボン、脱いじゃお。

すぐくパンパンで、苦しそう。

※S E…衣ずれ

あ、すご…。

暗くてよく見えないけど、なんか、シルエットが…めっちゃ大きい。

…ねえ、何となく思ってたけど。

お兄さんのおちんちんって、平均よりも大きい…よね？

《一呼吸おいて》

ホント？

前の彼女さんとか、なんか言ってた？
他の人と比べてどう、とか。

え？ ごめん、なんて…。

《一呼吸おいて》

付き合った事ない？

《3秒沈黙》

え？

《一呼吸おいて》

いやでも、最初会った時、彼女に振られたって。

嘘？

片思いしてた人に彼氏ができただけ？

《3秒沈黙》

えーと。

え？

じゃあ、なんで付き合ってたって…そんな嘘ついたの？

…そう言う夢を見てた？

見てたって、いつ…。

最初に会った時？

ああフェラした時…。

え？

じゃあつまり、私がフェラした時に、片思いしてる人と付き合う夢見て…。
起きてぼーっとしてた時に、私になんで酔っぱらってたの？ 聞かれたから
付き合いたての彼女に振られた、って言っちゃったと。

そんな、違うなら違うって言ってくれれば…。

まあ、確かに言いにくいかもしれないけど。

え？ じゃ、じゃあさ。

私が初めてエッチした時、お兄さんも初めてだったわけ？

お互い童貞と処女だったって事？

あ、だからゴムつける時、お兄さんも自信なさげだったの？
なんか、あまり説明してくれないなあとは思ったけど。

あー…なるほど。

え、じゃあさじゃあさ、デートとか、女の子の家に行ったりとか、そういうのって今まで
した事なかった？

《笑いながら》

ちよ、なにそれ。

ふっ、ふふふふ。

私、お兄さんにずっと騙されてたって事？
だってそうだよね？

私は、ずっとお兄さんは経験豊富だと思ってたけど。
実は何もかも初めての、童貞さんだった訳だから。

あーあ。

もう、私の周りはずるい大人ばかりだ。

ごめん、て…。

ふふふ。

そうだね、ちゃんと謝ってもらわないと。

あ、そうだ。

ねえ、お兄さん。

ごめんって思ってるなら、さ。

さっき、コンビニでゴム買ったでしょ？

あれ…つけずにしない？

私、今日、危険日だけど…。

生で欲しいなって言ったら、入れてくれる？

お兄さんの嘘つきおちんちんで。

生エッチ。

それで。

中出し射精。

してくれる？

※SE…挿入音

ひゃう…！ あ…！

きた、気持ちいいの。

メリメリって、おまんこの中に、無理やり。

もう、お兄さん。

全然、反省してないでしょ、これ。

興奮、しすぎだよお…。

ねえ、お兄さん。

顔、こつち。
耳、貸して。

《囁き》

ありがとう。
私で童貞卒業してくれて。

でも不思議。
お兄さんみたいに素敵な人が。
今まで誰ともした事ないなんて。

私とエッチするために、とつてくれてたのかな？
なんて。

私、ね。
さつきまで、結構本気死にたいって思ってたの。

でも。
さつきお兄さんが、私が初めての人、って教えてくれて。
なんか、全部吹き飛んじやった。

私、何にも持っていないけど。
お兄さんには、何かあげてたのかな、って。
そう思った。

これまで、さ。
お兄さんという時間、すごく楽しいんだけど。
こんな私なんかとつて気持ちもあつて…ちよつと罪悪感もあつた。

お兄さんはすごく優しくて。
でも、私はなにも返せてなくて。

でも今は。
私がお兄さんの初めての女だ、みたいな。
ちよつと、変な自信、出てきた。

ふふふ。

私、情緒やばいね。
でも、それくらい嬉しくて…。

ねえ、お兄さん。

私、お兄さんの事が好き。
これまでも、これからも。

私、お兄さんに色んなものあげたい。
いっぱい幸せにしたい。

だから、ね？

せめて今は、私で気持ちよくなってほしい。

私の全部、お兄さんにあげたい。

だから、いっぱい動いて。

おまんこ、パンパンして。

それで…。

おまんこの奥に。

射精。

して欲しいな。

《囁き》

※SE…セックス←

んっんっ…あっ…ひやう…んっ、あうう…いい…んっあっあっあっ…んううう、あうう。

やば…いつもより、感じる…！

また、大きく、なった？

それとも、私のおまんこが、お兄さん専用になっちゃったのかな？

んああっ…ひや、ああ、ああああっ、くふっ…はあっ…はあ…。

お兄さん。

好き。

大好き。

もう、すっかり依存症だよ。

それに、今は、さつきよりもお兄さんを近く感じる。

不思議だね…お兄さんは、ずっとそばにいて、優しくしてくれてたのに。
今更になって。

あ、ん…あうう、ひや、あんっ…や、あ、あ…。

お兄さん、おっぱい。

モミモミ。
してえ…。

うん、触られるの、好き。

いつも、ね…人前でもどこでも、触りたいって、思ってる。
ふふふ…私も変態さん、だね。

お兄さんのが、うつつちゃった。

んあっ…はっ…ひあ、ああっ…う、んんっ…。

エッチな、触り方。

お兄さんの手、ほんと好き…。
すごく優しいし。絶対、痛くないし。

でもね、ん…。

お兄さん、一回、ぎゅって、おっぱい、鷺掴みにしてみて。
力いっぱい…。

いいから…一回だけ…。

はっ…あ、あっ…んっ…く、ふっ…やあっ…あ…。

痛い…。

でも…気持ちいい、の。
やばい、よね。自分でも思う。

でも、好きな人だったら、乱暴にされたいの。

おっぱいでも。

おまんこでも。

好きにして、欲しい。

お兄さんの、特権…だよ？
私、お兄さんの彼女だし

お兄さんの…お兄さんだけの。
女…だ、から…。

そ、それにまだJKだし。

《笑いながら》
プレミア？　みたいな。

あ、私、卒業やばいし。
留年して、もう一年、JK、延長しようか？

あつ…んう…あ…やつ…んう…あんつ…くうう…あう…んつ…うう…あう…んつ…やつ。

んう…わ、分かつてる。

冗談だよお。

私も、早く、大人になりたいし。

お兄さんと、もっと一緒にいたいから。
子供のままじゃ、ね？
色々と大変だし。

でも、お兄さん。
制服、めっちゃ好きでしょ？

わかるよそりや。
見る目が全然違う、っていうか。

だから、卒業してもたまに制服エッチしてあげるね。
あ…そう考えると、卒業したら、お兄さんにあげれるもの、また一つ増えるのかな。
リアル制服の、コスプレえつち。

んっんっ…あつ…ひやう…んっ、あうう…いい…んっあっあっあつ…んううう、あうう。

え？　な、何？
いきそう？

うん、いいよ。射精、して？

ふふっ。

どこ、出すの？

ね、お兄さん。
私のお願ひ。
覚えてる、よね？

うん…。
中出し。

して？

ひゃっ…あうう…あんっ！ あっ…あう…あ、あ、んうう…あんっ、あ、んっ…あん。

チュー。

いっぱい…。

《キス》

ちゅ…あん…む…ちゅ…あむ…んう…ん…れろれろ…あ…ちゅ…むう…ん…れろれろ…あ
ん。

好き。

大好き。

大好き、大好き。

んっ…あっ…。

あー…やば…。

愛してる。

お兄さんの事、心から、愛してます。

ふふっ。

なんて…。

んっあっ…ひゃう…あ…。

ぎゅって、もつと、抱きしめて。

んっ、腰、やばい…。もつと、もつと、おまんこついて。

気持ちよく、なつて。

射精、して…！

《キス》

はあ…ん…ちゅ…くちゅ…うん…あん…ちゅ…あむ…んっ…はうう…ちゅ…ふう…んうう
…。

※SE…セックス→

ん、んうううう…！

んっ…あう…。

あ…。

な、中。
出てる？

あ、すご、おちんちん、まだどくどく言ってる。

んっ…。

はう…あ…。

ふふ。

中出し。

しちゃったね。

子供、できちやうかもよ？

え？

…責任、とる？

ねえ。お兄さん。

昨日、私が無理やり襲った時。

大丈夫な日、って言ったの、覚えてる？

うん、言ったじゃん。本当、って。

信じてなかった？

そうだよ。一日で安全日が危険日になったりしないよ。

だからまあ、多分大丈夫だよ。

でも、ありがとう。

責任とるって、言ってくれて。
すごく、嬉しかった。

お兄さん。

大好きです。

ずっと、そばにいてください。

《一呼吸おいて》

え？ なに？

あ、愛してるって…。

それは…！ その、確かに言ったけど。
勢いというか…。

改まって言うと、恥ずかしいし。

え？

お兄さんは言える…。

《お兄さん「愛してる」》

あ…ん…。

そ、そう…。

もう…お兄さん、ホントずるい。

《小さく咳払い》
んっ。

《照れくさそうに》

あ、愛してます。

《5秒沈黙》

※S E…衣ずれ

※S E…木を歩く足音

あ、お兄さん。

しーっ。

静かに、来て。

うん、驚かしちゃうから。

何って…ほら、こっち。

昨日、逃げてった犬、だと思っけど。
うん、私が朝起きた時には、もういて。

子供、産んだ。
妊娠してたんだね。

はあ。

…めっちゃ可愛い。

きつとまだ目、見えないんだよね。
でも、頑張ってお乳飲んでる。

連れて帰りたいけど…。
うん、そつとしとく。

世の中厳しいぞー。
大変なことばっか。

でも、その内良いこともあるから。

頑張って、生きてね。

《3秒沈黙》

ねえ、お兄さん。
私たちも帰ろっか。